

研究実施計画書

岡崎市民病院院長殿

申請者

所属 リハビリテーション室

職名 正言語聴覚士 氏名 田積 匡平

研究課題：パーキンソニズムを有する患者における肺炎発症後の経口摂取に関わる因子の検討

背景：本邦では高齢社会の進行に伴い、肺炎患者は増加の一途を辿っている。当院でも例に漏れず肺炎で入院する患者は年々増加している。そのため、細菌性肺炎や誤嚥性肺炎などの肺炎患者は呼吸器内科など特定の診療科に入院せず、基本的に内科の持ち回りとなっている。肺炎で入院する患者は何かしらの基礎疾患を合併していることが多く、その中にはパーキンソニズムを有する患者も少なくない。パーキンソン病やパーキンソン症候群などパーキンソニズムを有する患者には摂食嚥下障害や肺炎が多いとの報告は散見されるが、肺炎発症後の経口摂取に関わる因子や入院中の臨床経過の詳細についての報告は少ない。

研究目的：肺炎の診断により一般内科扱いで当院へ入院したパーキンソニズムを有する患者を対象に後方視的な調査を行い、肺炎発症後の経口摂取に関わる因子や入院中の臨床経過の詳細について明らかにする。

対象：2014年～2016年に肺炎の診断により一般内科扱いで当院へ入院した患者の中で、パーキンソニズムを有する疾患を基礎疾患に持つ患者、および入院中にパーキンソニズムが疑われた患者。

方法：①退院時に経口摂取が可能であった経口可能群と経口摂取が困難であった経口困難群の2群に分類し、各種臨床パラメーターを比較検討する。②初期評価時に重度摂食嚥下障害であった患者を対象に入院中の臨床経過を調査し、どのような過程で経口摂取を再獲得できたか、どのよう入院経過を辿ったかなどを記述する。可能であれば初期評価時重度摂食嚥下障害であった患者の中での経口摂取再獲得に関わる因子の検討も行う。

研究期間：臨床研究審査委員会承認日～2020年3月31日

説明同意文書に関して：本研究は過去の患者情報の抽出作業であるため同意書は取得していない。そのため、当院ホームページ上に研究内容を公開し、「研究内容に関して同意が得られない場合はご連絡をお願いする」という内容の文言と連絡先を併載し、患者様などからのご希望があれば、その方の情報は研究に利用しないようにする。

お問い合わせ先：〒444-8553 岡崎市高隆寺町字五所合 3-1

岡崎市民病院 医療技術局 リハビリテーション室 田積匡平

電話：0564-66-7050 FAX：0564-66-7048